



森のなごま

2018年4月号

NO.120 (継続265号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

第9回森林文化講演会 「いのちのつながりを見つめて」～自然は友達～
平成30年2月11日 講師 吉田 文雄氏

<記 森林文化部会 菊地 昭子1期> <写真撮影:井出 恒夫 1期>

毎年恒例の森林文化講演会は9回目迎え2月11日(日)桜美林大学PFC(プラネット淵野辺キャンパス)P202 教室で行われました。3連休でしたが、一般13名、森林インストラクター40名の合計53名が集まりました。

吉田文雄氏は、神奈川県下の小中学校の教員をなされ、厚木市立依知中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。フィールドスタッフ、1級ビオトープ計画/施工管理士、七沢自然観察主幹指導主事。神奈川新聞県西版に7年間連載された「四季のたより」がスタッフの目に留まり今回の講演会となりました。



「命が輝くときはどんな時だろうか?」とその瞬間の写真に撮られてきた。相手と会話し、気持ちを理解する。そして「そのものになりきる」。そしてそれが自然を保護・保全することが大切だと思えるようになった。蜜を吸っている蝶、岩場で休む日本カモシカ、ニジマスは今採ろうとゴイザギ、ハチを採って離さないハナグモ、水滴、虹色に輝く蜘蛛の糸、土手の隙間から育った見事な花をつけた桜・・・。空を見上げているネコから見える世界を物語にして話す姿に優しい雰囲気会場に流れていきました。



後援:神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会、(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川新聞社
協力:桜美林大学

森林部会 平成29年度 第6回研修会

「チェーンソー研修会」

場所:愛川ふれあいの村

日時:平成30年1月21日(日) 9:20~15:30 晴れ

<記 上田 啓二 10期> (写真&写真キャプション:石川②)

愛川ふれあいの村から高取山への登山道の取り付け部にある杉林の間伐で胸高直径30cmから大きいものでは40cmのガイドバーが届かないほどの大きさのものまでの大径木を対象に、チェーンソー操作の基本と伐倒方向に確実に倒す技術を学ぶことが目的だった。

森林部会長の安全についての諸注意の後、作業安全を祈念するために作業エリア内にある「山の神」にお神酒をささげ参拝した。

ふれあいの村利用者や、登山客が作業エリアに入らないように境界線にトラロープを張り立ち入り規制の表示を行い、かつ運営担当幹事が巡回見張りを行った。

各班講師からチェーンソーを使用する時は、安全に配慮する心を常に持ち、道具はいつも最善の状態に整備したのを使い、基本に忠実に作業を進めてゆくことを常に心がけてゆかなければならない事を、事例を通して説明された。

以下に3班の様子を示す。講師から教えられたことを繰り返し確認しながら順番に作業を進めていった。

木の元に立って樹冠を見て、周囲の樹木の状況を確認し、倒す方向を検討する。倒す場所に障害物はないか、他の作業と錯綜していないか。ひととおり対象木を観察して伐倒方向を決め目標方向に目印を設置して正確に倒せるかを確認することによって伐倒技術の評価をすることにした。

幹に伐倒方向の中心線を引き受け口のデザインを書き込み、追い口の切高とツル幅を明確にして準備を終え、足場をしっかりと確保し、伐倒方向の目じるしにガンマークが向いているか、切り込み深さは大丈夫か、注意点を一つずつ確認しながら作業を進めていった。確認をするときは、安全確保のためエンジンを止めて確認をする。斜め切りは水平切りの最深部と合致させる。合致した位置にエンジンを止めたチェーンソーのバーをおしあてガンマークが目標方向に合致しているかを確認する。

追い口を切る前に予定していたツルを厚めにして楔を使って倒す事にした。追い口切りは受け口の合致線と並行になるように設定したツルの位置まで切進め、くさびを打ちこみ少しずつ伐倒方向へ重心を移動させた。木は緩やかに傾いて行き、周りの木々の枝にぶつかりながら、大きな音を立てて速度を上げて地面に倒れこんだ。

目標の目印は幹の真下になって倒れており、目標位置に木を倒すことができたことが確認できた。受け口の出来不出来が伐倒方向を支配することがよく分かった。



オリエンテーション



1班研修状況



2班研修状況



3班研修状況



掛り木にはチルホール

研修参加者は1本ずつ講師の指導を受けながら伐倒から集積までの一連の作業の経験ができました。講師から次に様なアドバイスがあった。

- ①基本に徹した丁寧な仕事
- ②経験を沢山して、経験と知識をバランスよく身につける。

最後に部会長の挨拶で今回の研修は無事終了した。



搬出を考慮した玉切材



作業後の手入れ

- 講師:1班=松永氏⑪、2班=佐藤氏⑤、3班=水津氏⑨
- 幹事:石川⑫、水上⑬、滝澤⑤
- 参加者:滝澤⑤、小野⑦、鈴木⑧、上田⑩、山口⑪、徳岡⑪、吉田⑪、永松⑫、宇田川⑬、斉藤⑬、前田⑬、岩田⑭、立花⑭、阿藤⑮、飛田⑮

森林部会 平成29年度 研修会 「さつま編みを利用した手元ロープ作成講習会」

場所:厚木市アミューあつぎ 日時:平成30年2月18日(日) 9:30~12:00 晴れ 参加:35名

講習目的: 両端にさつま編みで作ったアイ(輪)をもつ手元ロープを作成致します。手元ロープ(引き縄)は森林整備の活動の際には個人装備の必須アイテムです。玉切りした材を運ぶ時、伐倒時に人力で引くロープを方向転換する時の滑車の台付けとして、また切った木を滑り落ちないように確保したりと、様々な場面で使えます。森林インストラクターとして森林整備に出る際には一人1本持っていたいものです。まだ手元ロープをお持ちでない方に自分の1本を作っていただくこと、またさつま編みの手順習得を目的としました。(配布レジュメより)



講師の大澤氏の説明

講師: 大澤氏⑩(メイン講師)、滝澤氏⑤(補佐)、幹事:斉藤氏⑬

(取材、写真:広報 松本⑪)



撚り3本を解し、先端をテープで色分け

スパイキ



思ったよりも難しい、みんな寡黙になり集中



上手に出来た

使用材量、道具

- クレモナロープ(三つ打ち)
12φ、3.5m
- ビニールテープ5色
- スパイキ(講師の手作り)
- モノサシ、カッター、ハサミ、マジックインク等



苦戦しつつも完成、時間内に出来なかった人はお家で

「さつま編み加工」「アイスプライス(Eye Splice)加工」とも呼ばれる加工方法。

- ・接いだ部分がさつま芋のように見えることからこのように呼ばれるそうです。 ・アイ(輪)スプライス(結合)という名のとおりに、ロープの端末を丸く曲げ、端のストランド(Strand)を本ロープのストランドに細工して輪状にすることを言います。

15期生(新期生)「森林インストラクターの一步」



こんにちは。第15期の石井 裕 と申します。

昨年11月に同期36名の仲間と共に認定をいただきました。これからどうぞ宜しくお願い致します。(計37名です)

さてそう申しました私ですが、まだ森林の世界に足を踏み入れて間もない者です。インストラクター講座が大半なだけに私といたしましては、まだまだ仮認定といった気持ちです。同期の仲間、先輩インストラクターの方々、本当にお好きでこの活動をされている方を沢山お見掛けします。その様な方を前に『どうして私は森林にしたのかな?!』と最近、いや今更ながら思ったりもします。

そんな時、私は2011年の東日本大震災のことを振り返ります。もちろん私は神奈川県民ですから東北の方々の様な経験はしておりません。しかし、あの揺れと直後に観たテレビ中継、そして震災後まもなく参加した復興ボランティア。それらからの体験にそれまで関心のなかった森林や山などの自然へ目を向けさせられた様な記憶が蘇ります。

少々大げさな言い回しになりましたが、その頃から少しずつ山に登り始めたり、又その流れから近年、森林ボランティアなどの存在に関心を持っていました。

そんな中『やどりき森の案内人』のことを知り参加してみました。その時のインストラクターの方がとても丁寧に案内して下さい、私が森林に関心がある事を伝えると『インストラクター養成講座を受けてみたら?』と、声を頂きました。

その様な経緯で講座に申し込むことを決めました。そして講座を終えた今、また一步、歩を進めることができたかなとワクワクした気持ちでいます。また、これからどの様に自分はしたいのか?などと考えています。でも何はともあれ、第一に楽しまなければ勿体無いと考えています。これから少しずつ経験を積んで、いつか自分なりに楽しみを伝えていけたらと考えています。

それでは、15期生一同をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



2018.1.14.山の神祭り時の15期生の面々

15期生対象「部会活動説明会」

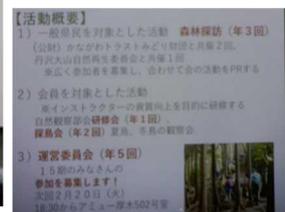
日時:2月12日(月・振休)9:30~11:30 場所:相模原市 ユニコムプラザ 参加:15期生24名

15期生対象に各部会の活動説明会が行われました。

各部長:森林、自然観察、森林文化、普及啓発、癒やし、
やどりき事業、日本触媒の森事業、住友三井オートサービス事業、
広報部 (事務局、会計部、ネットワーク派遣管理部は終了式時に説明済み)



今年からパワーポイントを使用して説明



森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

薬用植物の中にはその薬理活性がタンニンによるものが少なくありません。以前にタンニンには水に溶けやすく比較的分子量の加水分解型タンニンとポリフェノール類の1種のフラボン類が多分子縮合した高分子の縮合型タンニンがあることを記しました。薬理活性のあるタンニンは加水分解型タンニンに多く見られます。そして加水分解型タンニンは没食子酸、及びその2量体の二つのタイプがあり、それぞれをガロタンニン、エラグタンニンと言います。薬理活性のあるタンニンはこれらを基本構造としています。

タンニンの特徴、それは渋みです。渋柿をかじった時の口の曲がりそうな渋さ、栗の渋皮のえぐい渋さ、濃いお茶を飲んだ時の舌に伝わる渋い味、これらの渋さのもとになっているのがタンニンなのです。渋さを感じるのはタンニンが舌や口腔粘膜のタンパク質と結合して組織を縮めるからです。このようなタンニンの働きを収れん作用と言います。この作用によってタンニンは薬としての力を発揮します。タンニンを含む薬用植物には整腸作用があります。これはタンニンが腸粘膜のタンパク質と反応して炎症を起こした粘膜への刺激を和らげるからです。ほかにもタンニンには止血、鎮痛、抗酸化作用などがあります。組織を縮める働きのあるタンニンは毛穴を引き締めるので皮脂の分泌を抑え、美容効果があるので化粧水にも使用されるようになりました。

ところでタンニンを含む植物は古来、生薬として用いられてきました。身近なものとしてはゲンノショウコがあります。道端に普通に見られる多年草です。地上部を乾して、煎じて飲むと下痢止め、お腹の調子をよくするのに効き目があります。整腸薬としての効果が高いことから「現の証拠(げんのしょうこ)」の名がついたと言われています。「医者いらず」とも呼ばれてきました。ゲンノショウコは日本薬局方の生薬総則に記載されている



ゲンノショウコ

第23回

薬としてのタンニン

元 香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

わが国の代表的は民間薬です。

同じく日本薬局方に記載されていてタンニンの薬効が利用されているものにアカメガシワがあります。

新芽が鮮紅色になりカシワのように葉が大きくなることからその名がついている落葉高木です。樹皮が胃潰瘍、胃酸過多に効果があることから苦味健胃薬の生薬として用いられてきました。



アカメガシワ

緑茶にはビタミンCが含まれているので健康飲料として注目されていますが、最も多く含まれる成分はタンニンです。お茶に含まれるタンニンはカテキン類というグループに属するもので加水分解型タンニンとは少し異なった構造をしています。カテキンは殺菌作用があるので虫歯菌の繁殖を抑え虫歯予防になり、また中性脂肪を低減させるのでダイエットにも効果があります。またエピガロカテキンガレートというカテキンの1種には抗ガン作用があることも知られています。「朝茶は難逃れ」という言葉があります。朝出かける前にお茶を一杯飲んで落ち着いた気持ちで出れば事故にも会わないで済むといったことが含まれた言葉ですが、それ以上に健康への意味も含んでいたのです。

ヤマモモの樹皮は下痢止めに役立ち、クリの葉、樹皮、いがは渋皮同様にタンニンを含み、日干しにしたものを煎じて炎症の患部に冷湿布するとウルシかぶれ、虫刺されに効果があります。クヌギの樹皮もタンニンを含み湿疹に効果があり、山地に生える落葉高木のニガキは苦味健胃薬として知られていますが、その材に苦味物質のジテルペンのほかにタンニンを含んでいます。ほかにはヌルデの虫こぶの五倍子の抽出液のやけど、汗も、ザクロの樹皮の煎汁のどの痛みの抑制などがあります。タンニンを含む草木は意外に身近にあるのです。

(イラスト 広報部 大塚晴子①)

活動短信

今回の掲載は1/20～2/19です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



款冬華 1/20～1/24 頃
ふきのはなさく
藨の臺が蕾を出す
第七十候 大寒 初候

土脉潤起 2/18～2/22 頃
つちのしょううるおいおこる
春の雨が大地を潤し始める
第四候 雨水 初候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずバタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 県民参加の森林づくり 竹林整備

日 1月20日(土)8:30～13:30、曇りのち晴れ

場 川崎市麻生区(栗木山王山特別緑地)

参 一般51名(男性45名 女性6名)

県 神奈川県横浜川崎地区農政事務所 大木様

財 豊丸課長、鳥海様、看 青木様

スタッフ 川崎市みどりの協働推進課 緒方係長、遠藤様、

川崎市公園緑地協会 野牛様、川瀬様、

神奈川県森林組合連合会 城内様

イ L宮下⑩、森本⑤、永野⑥、小野⑦、有坂⑧、鈴木⑧、

上田⑩、中元⑩、湯浅⑪、山口⑪、石川⑫、山崎⑫、

北村⑬、水上⑬、溝田⑬、西岡⑭

天候も比較的良く、また、暖かさを感じる絶好の活動日。
小田急線の栗平駅に参加者が集合。班編成を行い公園まで移動。作業現場は、川崎市の栗木山王山特別緑地。今

年で4年目の竹の皆伐である。

オリエンテーションでは川崎市みどりの協働推進課様からの挨拶、全体スケジュールや作業の手順、事故防止と安全作業を説明。ストレッチ体操後、道具を装備し作業地に向かった。現地はマダケ主体の竹林で、今までの竹林整備でかなり伐採は進んでいる。また、過去に伐採した竹は多くが搬出されていた。

全員で、残された伐採竹を入り口部の集積場所まで運搬。その後、各班が伐採を開始。班ごとに、伐採、枝払い、玉切り、集積について、作業手順や安全対策を確認後、皆伐に着手。一部は平地部の皆伐、既に平地部の皆伐が終わっている班は斜面地の皆伐を開始。2時間ほどの伐採作業となった。

公園に戻り昼食後、各班で作業の振り返りを行うと共に要望を頂いた。参加者の皆様からは、継続的にやっているのきれいになった、やりがいがあった、もう少し伐採したかった、以前の竹を運ぶ時はロープがあると効率的に運べるのでは、等の声を頂くことが出来ました。13時前には公園を出発。栗平駅での解散。以前は荒廃した竹林でしたが、継続的な皆伐を行っているため、明るい緑地に向かい始めました。これも参加者皆さんの活動の賜物です。寒い中での作業、お疲れ様でした。

(記 宮下 修一 ⑩)

かながわしずくちゃんホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530038/p780119.html>

◆ 自然素材を使って遊ぼう！(BESSフォレストクラブ)

日 2月4日(日)

場 BESS藤沢展示場

参 延べ 約50名

イ L森本⑤、渡部⑦、中島⑨、草野⑧、福島⑩

ログハウスメーカー(株)アールシーコアの社会活動部門であるBESSフォレストクラブからの継続依頼で、前回のリベンジ(降雨で不本意)となる活動を行うことが出来たもの。

当日は、冬晴れとなったものの寒い一日。葉巻笛・ウグイス笛・シュロバッタ・どんぐりクラフトなどのクラフトを中心に採用。参加者からは、「楽しかった！」との声多数。今後は、森林関連の資料配布等、より森林色を出していきたいな、と思いました。

(記 森本 正信 ⑤)

◆ 東京都世田谷区立松丘小学校

社会科見学(自然観察体験)

日 2月19日(月)9:00~11:30、晴れ

場 横浜市栄区上郷 自然観察の森

参 小学5年生 127名 教師等 7名

イ L長尾⑬、渡辺③、堀江④、伊藤⑦、渡部⑦、小沢⑨、村井⑨、大原⑬、真部⑬、國弘⑭、羽鳥⑭、石垣⑮、阿藤⑮

13 班に分かれて冬の「ミズキの道」ルートを観察。冬の森は落葉した樹木と常緑の木々が織り交ざりコントラストのある風景です。森で生徒達は外来種のタイワンリスに出会い興奮し、池ではヤマアカガエルの卵を見ることができ、クスノキの葉の匂いを嗅いでもらいこれは現代版「ダンスにゴン」で笑いを取れました！キツツキの仲間が開けたクスギの穴、樹皮のかじり痕はタイワンリスだよと説明。松丘小学校の生徒さんは熱心に記録を取りながらインストラクターの説明を真剣に聞いてくれました。

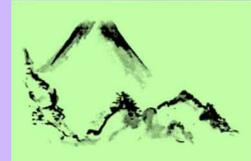
森はたくさんの樹木、動物、植物を育んでいますの話から生徒から森は緑のダム役目とか温暖化防止のCO2を減らす光合成もしてるとの答えも頂きました！質問ではどうして森林インストラクターになったんですか、森でどんなことしてるんですか？等鋭い質問も頂きました。今回が私の「自然観察引率」デビュー戦でしたが楽しく怪我もなく無事終了できたことに感謝です。

(記 阿藤 壽孝 ⑮)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

かながわ森林インストラクターの会から
森林探訪のお知らせ



『4月22日(日)
陽春の湯河原城山を歩こう』

「春の草花を愛でながら、城山からの眺望を楽しむ」

((公財) かながわトラス トみどり財団共催)

9時15分 東海道線 湯河原駅改札前 集合
歩行距離約5km
湯河原駅⇒(バス)⇒しとどの窟バス停(椿台)
⇒土肥城址(城山)⇒ピクニックグラウンド
(昼食)⇒城願寺(解散)⇒湯河原駅 15時頃

募集 4月15日必着

参加費 1000円

みどりのトラスト会員証提示で500円

雨天決行、バス代個人負担です。状況によりコースの変更も有ります。

〒243-0018

厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604号
NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
自然観察部会

kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

(問い合わせTEL 090・6150・6173) 担当：赤崎

いただいた個人情報につきましては、当会が関連する情報をお送りさせていただく場合がありますが、それ以外は一切使用いたしません

持ち物:昼食、飲み物、雨具など、必要と思われるもの。
服装:ハイキングができる程度(長袖、長ズボン、帽子)、履きなれた靴。

募集人員: 80名

申し込みは、往復はがきまたはメールで
森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、お申込ください。

アースデイ東京 2018 開催!
日程: 4月21日(土) 10:00~19:00 /
4月22日(日) 10:00~19:00 ※雨天決行
会場: 代々木公園 (イベント広場・ケヤキ並木)
来場: 12万人(予定)
主催: アースデイ東京
2018 実行委員会
(実行委員長 C.W.ニコル)
<入場> 無料
<お問い合わせ>
【アースデイ東京事務局】
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 アリーナ道玄坂604
TEL: 03-6455-3702 FAX: 03-6455-3703
詳細はこちら!
<http://www.earthday-tokyo.org/>

やどりき水源林ミニガイド

3月のトピックス 案内人インストラクターの新年度ミーティング (3/18)



この日スターのカモシカが活動の激励にきてくれました。感激！！

4月の水源林

春～春～春の訪れです。草花の芽吹き、花もたくさん咲きます。皆さんいらっしやい！！

「森の案内人」情報

春まただ中です。案内人もはりきってお待ちしています！！

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/t27/yadrikil/27.html> E-mail：midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

箱根湿生花園OPEN

開園期間：2018年3月1日～11月30日

開園時間：9時～17時 (年中無休)



◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当>

新) 笠原かずみ

Mail：happy_kumakuma711@icloud.com

Tel：090-4137-9265

現) 赤崎 さほり

Mail：s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel：090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel：080-5477-2206

Mail：

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax：044-944-9423

Mail：fukky52000@yahoo.co.jp

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当：井出恒夫)

編集後記

★程よい疲労と達成感のある気温の高い日は、ビールが欲しくなるのが困ります。夜桜もいいですね。

(赤崎)

★武蔵野公園ケヤキ林の下で「ハルリンドウ」が蕾を膨らませていて、春の訪れを感じます。

(小川)

★赤崎さんの後任の笠原です。赤崎さんのメッセージを楽しく読んでいました。皆様を繋ぐ「森のなかま」の配信の責任を感じています。よろしくお願いたします！

(笠原)

★どんなに寒い冬でもちゃんと春が来ることを 里山に毎週通っていると実感できます。山全体が、新芽・花で浮き立っているように見え、こちらの気分も高揚してきます。

(黒川)

★早々と春が日本中を訪れている。となっていたのに。やっぱり自然は複雑で奥が深い。細かな揺らぎがあって全体として季節が移っていくんですね。寒さ・温かさ・寒さ・温かさ・・・

(吉田)

★野球の緩急差ならOKですが、季節の寒暖差には衰え始めた私の体にはキツイです。春の高校野球小僧の Play を見て血流を良くします。

(松本)

■ 電子配信の担当が赤崎さん⑫から笠原さん⑬に移行しますが、6月号(5月)までは赤崎さんにもフォローして頂きます。

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人：松本 保

事務局：福島 正治

広報部：大塚晴子 赤崎さほり

小川和恵 藺田栄哉 吉田郁夫

黒川敏史 笠原かずみ

支援：伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

寄バス停から歩いていける桜や花の情報



- ・土佐原の大きなしだれ桜 (上の写真)
- ・宇津茂の大きなしだれ桜
- ・中津川沿いのしだれ桜
- ・中津川沿いの花壇

*そしてやどりき水源林の桜

バスは新松田からでています。

山麓のオアシス
～ お食事処 ～

緑の募金箱協力店

こまち

山や散策のお帰りに是非お越しください。

小田急 新松田駅 踏み切り際